

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

福岡県型安心と笑顔のあふれる家

グループの名称

福岡県健康住宅促進協議会

直近採択グループ番号

04-0373-0711

(グループ代表者)

代表者名

村上 茂真

代表者印

代表者所属先

株式会社ZOME

代表者所在地

福岡県北九州市八幡西区下畑町

代表者電話番号

09-3618-7688

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ZOME

事務局担当者名

村上 茂真

印

事務局郵便番号

807-1123

事務局所在地

福岡県北九州市八幡西区下畑町13番7号

事務局電話番号

09-3618-7688

事務局FAX

09-3618-7687

事務局担当者E-mail

info@zome.biz

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	8棟				
			929㎡				
		申請が未確定	18棟				
			2100㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	長期優良住宅の未経験の工務店を優先しつつ、基本、均等割り当て配分とする。尚、経過を考慮して工優先順で再配分を実施。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	5戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4戸
	補正予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福岡県型安心と笑顔のあふれる家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 福岡県健康住宅促進協議会	(結成年) 2011年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0373-0711	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	①耐震等級2以上を担保した、地震に強い安心な家。(※認定低炭素住宅は耐震等級2以上とする) ②主要構造部の劣化対策必要部位に乾式加圧注入されたAQ認証材(JAS K3相当)を使用した高耐久な家。 ③主要構造材(柱、梁、桁、土台)は地域材及びJAS材を90%使用した家。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・空気環境にこだわった、健康快適な家。 ・耐震性能を考慮し構造躯体の接合部を金物工法とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・夏涼しく、冬暖かい住まいづくりの為に、省エネ等級4を確保しつつ、通風に配慮し居室は2方向開口を確保した家。	○
④①～③の背景	・福岡は概して温暖な地域であるといえるが、内陸平野部などは寒暖の差が激しく、梅雨前線や台風の影響を受けやすい地域でもある。また、福岡地域は地震が頻繁に発生する地域ではないが、複数の断層帯があり、2005年には福岡県西方沖地震が玄界灘で発生している。近い将来に発生するであろう南海トラフ震源の地震からの影響が予測されていることもあり、この地域に住む人々の地震に対する関心は増してきている。一方、福岡県をはじめとする九州地方は森林率、人工林率が全国でトップクラスであり資源が豊かな地域でもある。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・健康と住み心地に配慮した、木のインテリア空間(床、建具、キッチン、家具など)を積極的に提案する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 耐震等級2以上を担保する為に、柱の梁に対する直下率を上げた共通設計ルールをグループで作成する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設備、内装建材などの特別価格一覧表を作成し、部材の統一、集中購買によりコストダウンを図る。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 上記の内容に伴い同一仕様書を作成している。	○
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で集中購買する為、納材事業者の商品化を行っている。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内、納材事業者の担当者を専任とし事務の合理化を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内に技術部会を設置し定例会議を年3回開催し、その技術部会にて設計図書どおりに施工されているかの確認を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 邸別の着工、完工スケジュールを把握し全体スケジュールのとりまとめ、構成員に発信する。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査を実施し、地盤調査データに応じた基礎設計を行う。 ・構造躯体等の耐震基準を考慮した接合部の納まり図等チェックリストの作成。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅に関わる4つの項目(耐震、劣化対策、維持管理対策、省エネ対策)について、第三者機関の現場検査を受け施工品質担保をより確実なものにする。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準見積り書を作成し、お客様がわかりやすい書類の整備を行う。 ・設計CADの共通化により積算数量の明確化を行う。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内に総務部を設置し、広報活動や情報の統括、発信を行う。また、お施主様向け相談会も実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・主要構造部及び羽柄材、内装仕上げ材のプレカット比率を向上し、現場施工の効率化を実現し、建築現場での残材・廃棄物軽減を図る。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福岡県型安心と笑顔のあふれる家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 福岡県健康住宅促進協議会	(結成年) 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0373-0711	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・竣工図、維持管理実施状況を自社保管及びグループ事務局に住宅履歴の蓄積を行う。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ事務局は住宅履歴情報の蓄積を第三者情報サービス機関を活用し保管する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・インターネット等を通じて各自確認出来る様にする。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・長期維持管理計画書に基づき、定期点検チェックリストによる定期点検を施工店が実施する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理計画書及び住宅品質管理マニュアルにより施工店が実施する。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住まいカルテを作成。お施主さま用と各社用の同じカルテを作成保管する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住まいの管理ガイドラインと定期点検チェックリストを作成し、グループ内の設計士や外部専門家を招いて勉強会を年3回実施する。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各建物完成ごとにお施主様が自ら維持管理出来る様、各業種ごとの専門の担当者による体験説明会を行いお施主様自ら理解出来る様にする。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各建物完成ごとに、お施主様及びOB客へ案内し維持、点検方法等の相談会の実施をする。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理の実施状況を維持管理部会を年3回開催し内容等の確認を行う。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・瑕疵担保責任の10年以後、有償にて5年間の延長を検討しお施主さまに提案する。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ構成員の倒産時には長期維持管理のサポートがグループ内の別の構成員に引き継げる様に対応指針を作成する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ構成員の定期研修会等でテーマを決めて勉強会の実施を行う。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・特になし	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ内、技術部会において技術力向上の為の研修会を経験工務店、設計士を講師とし施工現場等を用いて年3回の研修会を開催する。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・技術部会により、共通仕様書等の作成を行い品質管理の共通ルールの策定。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ事務局内の技術部会による、品質管理の為の現地調査、確認を行う。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構造材、羽柄材のプレカットを積極的に使用し、現場の廃棄物を削減する。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・作業効率の向上を目指し、現場の「ムリ、ムダ、ムラ」を削減出来る施工の流れ、ポイントの検討等、又現場視察説明会を定期的に行い技術力向上の為の意見交換会を開催する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・プレカット会社、設計事務所、施工店、職方まで一体となった技術検討会を開催する、又各現場の工程会議を開催し各業種間の連携を密に行う。	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 3 講習会修了者を除く工事関係者の参加100%達成を目指す	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 3 講習会修了者を除く関係者の参加100%達成を目指す	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が省エネ講習会開催の日程など、グループへ情報発信する。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・お施主さまの「健康・快適・安心・安全」に配慮した住宅部材の選定のための意見交換会の実施。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・上記の意見交換会による新技術をお施主様に提案し、1棟は建築実例を作る。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・昨年同様に制振装置を積極的に取り入れより安心、安全な家造りを進める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福岡県型安心と笑顔のあふれる家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 福岡県健康住宅促進協議会	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0373-0711	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>・JAS材90%とする。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎、○ 記入欄
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域材の供給構成員は、価格状況、在庫状況を事務局に報告し、グループに情報発信する。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・原木供給から流通・プレカットまでの流れを固定し共同購入する事で価格の共有化する。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・請負契約の着工情報を事務局でまとめ、グループに情報発信する。</p>	◎、○
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 130 枚</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 300 坪</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 60 枚</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 20 枚</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地場産業活性化のために、地域の特産品家具や木工品等を積極的に活用する。</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域の特性を生かし、町並みに合わせた意匠を積極的に提案する。(特に宿場町等)</p>	◎、○
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・環境、資源に対する意識が高いため、庭に樹木を積極的に提案する。</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・核家族化が進み家族コミュニケーションを図る設計提案として、対面キッチン、リビング階段を推奨提案する。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・周辺の町並み、景観を敷地環境調査書に記載し、設計提案に活用する。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・洋和室でも床の間、床柱を使用し、現代和風の設計提案の実施をする。</p>	◎、○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	・東北地域の建材、商材を流通業者が中心で模索し、技術部会で提案し採用の活用を検討する。	◎、○ 記入欄
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・東日本大震災と同様に、又供給地域が近い事もあり、商材、流通業者を中心にグループ技術部会で提案し採用の検討をする。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 福岡県型安心と笑顔のあふれる家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 福岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 福岡県健康住宅促進協議会	<small>(結成年)</small> 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0373-0711	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・〇認定低炭素住宅 特徴：省エネ配慮の上に、当グループの安心配慮の耐震を考慮する。 ・BELS制度を出来るだけ活用する。 ・地震対策を考慮し、耐震等級2以上とする。 ・節水型のトイレ設備などを積極的に使用する。 		